

ISSN 0289-8144

# なきごえ 10

OCT.

2000



CONTENTS

New Face	ヒョウモンガメ	満 勇二	②
	動物とわたし	市河紀子	③
カバーウォッチング	インドホシガメ	長瀬健二郎	③
	北海道のヒグマ 共存に向けて	間野 勉	④
	キリンの引っ越し	西田俊広	⑥
グラフZOO	第26回サマースクール	松岡秀和	⑧
	KEITAのなんでやねん!動物園	西村慶太	⑩
	ZOO DIARY	高見一利	⑪
	ZOO INFO	松岡秀和	⑪

New Face



ヒョウモンガメ

(カメ目 リクガメ科)

今年5つの卵が孵化しました。アイファアの飼育管理室にいる3匹の中で一番元気のよかったです。アイファアの展示室へデビューするのがいつになるか楽しみです。

(撮影・文：満 勇二)

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-

市河紀子 さん

(編集者)



鳥の運命は飼い主次第

あ る夏の夜、友人のTのところで、MとMの小学生の息子の4人でお茶を飲んでいました。その部屋にはTが大切に飼っている文鳥がいて、鳥かごから聞こえてくる音を聞くうちに、昔飼っていたかわいそうな文鳥のことを思い出しました。

小学生のとき、飼っていた犬が死んでしまって、家の中はどこかぼっかりと穴があいていました。それで、鳥を飼おうということになったのです。ペット屋のおばさんは「この二羽が仲よくしてるからねえ」と言いながら、弟と私に番(つがい)の文鳥を選んでくれました。弟のがオスで名前は「ピツ」、私のはメスで「リル」。

お ばさんが言っていた通り、二羽の文鳥はじきに卵を抱くようになりました。白くて小さい卵。初めて飼う「鳥」という生き物は、それまでの人なつっこい犬に比べると、何を考えているかわからなかったけれど、ヒナがかえったらきっとかわいいだろうなあ、と楽しみでした。

さっそく『鳥の飼い方』の本を調べてみると、「卵を抱いているときは、鳥も神経質になります。静かなところで布などをかけ、なるべくそっとしておきましょう」とありました。弟と私はもちろん、その通りにしました。そして…、忘れてしまったのです。

ある日、アッと思い出して鳥かごの布をめくる

と、ピツが冷たくなって床に転がっていました。卵は下に落ちて割れていました。(落ちたのか、おなかのすいたリルがつついたのかはわかりませんが…)ピツが哀れでした。たくましいリルはそれからずいぶんと長生きして、最期は私の手の上で死にました。

そ れにしてもひどいことをした…と、みんなに打ち明けると、TもMも「ひどーい!」とあきれています。そのうちTが「でもね、私も思いました」と告白を始めました。聞けば、鳥のエサがいつのまにか殻だけになっているのに気がつかず衰弱死させてしまったことがあるということです。すると、Mも「あの一、私も…」といます。Mの家では十姉妹をたくさん飼っていたそうです。夏あんまり暑いので、シャワーしてあげようと思いつき、シャンプーの空きボトルに水をつけてシューッとかけてあげたら、目の前で鳥がバタバタと倒れてしまったのです! 洗ったつもりでボトルにシャンプーの成分が残っていたらしく、どの鳥も目をショボショボさせて、じきに死んでしまった、というかなりショッキングな話でした。

いまごろになって明かされたペット残酷物語に、みんなで涙しました。Mの息子はびっくりした顔で聞いていましたが、その晩の話はきっとどんな夏の怪談よりも恐ろしかったに違いありません。

(いちかわ のりこ)



インドホシガメ

Cover Watching

カメ目 リクガメ科 Geochelone elegans

インド、スリランカそれにパキスタンに分布する美しいカメです。しかし、その美しさがあだになってワシントン条約の附属書のIIに指定されているにもかかわらず、密輸が絶えません。この個体も税関で摘発され、天王寺動物園で保護しているものです。とても残念なことです。(撮影・文：長瀬健二郎)

## 北海道のヒグマ - 共存に向けて -

間野 勉  
北海道環境科学センター



ヒグマは豊かな北海道の自然環境を象徴する野生動物ともいわれます。(撮影：梶 光一)

駆除されたヒグマの胃内容から出現した果物や菓子など。残飯や生ゴミの味を覚えたヒグマは危険です。(撮影：間野 勉)



で何か益になることがあるのか?」、さらには「人間とヒグマとどちらが大切なのか?」といった意見や批判がしばしば寄せられます。これは、本州以南のツキノワグマに対する世間の見方でも共通かもしれません。

しかし、これらの意見は、クマという野生動物の保護対策を考える上で、とても重要なことを教えてくれます。様々な野生生物種が存亡の危機にあるといわれ、これらの種の保全を図るためには「絶滅リスク」を低く抑える保護策が課題となります。しかし、クマの保護では「絶滅リスク」だけでなく、クマが生息することによる「被害発生リスク」あるいは「人身への危険性」もできる限り低く抑えるための方策が是非とも必要で、それが伴わなければ世間の理解や支持を得ることができないということです。また、このような見方を改めてもらうために、人々との意思の疎通が必要だということです。先に述べた意見を単に批判するだけでは、地元からは「都会人やマスコミによる共存という名の恐怖と被害の押しつけ」と一蹴されるだけで、地元住民と「クマとの共存」などおぼつかないでしょう。

それでは、クマによる「被害発生リスク」あるいは「人身への危険性」を減らすためにはどうしたらよいか、考えてみましょう。クマの生息数がこれらのリスクを決める要因の一つであることは確かです。「クマの生息数が

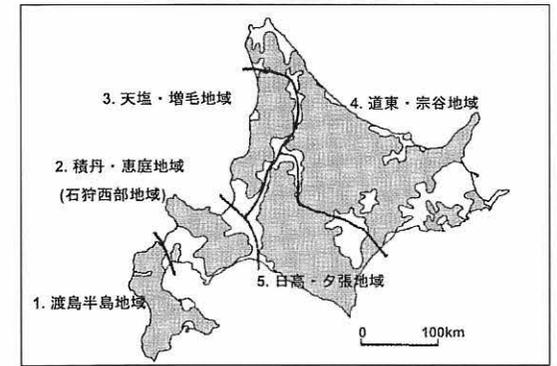
増えたせいで出没や被害があるのだから、もっと駆除して生息数を減らせ」という意見は、クマによる被害発生リスクは単純に生息数だけで決まるものとの暗黙の前提から出てきます。この考えを突き詰めていけば、クマの生息数はできるだけ少ない方が被害は少ないので、最終的には根絶もやむなしという結論になりかねません。

しかし、北米を中心としてクマの行動や生態の研究が進むにつれ、生息数よりもクマと人間との「不適切な関係」が、クマによる危険性や被害の発生に大きく影響すると考えられるようになってきました\*。ここでいう「不適切な関係」とは、人間とクマとの間に食べ物を介した関係が生ずることを意味します。その中でも最も深刻で真剣に考えなければならないのが、生ゴミや残飯の問題です。

北米のクマでの研究から、特に人間が出す生ゴミや残飯などの味を覚えたクマが人間の存在を恐れなくなり、食べ物を提供する存在として人間に積極的に接近して攻撃的になることが知られるようになりました。このため、人間とクマとの間にこのような「不適切な関係」を作らないようにすることが、北米におけるクマの保護管理の目標となっています。そして、クマの生息地で働く人やそこに隣接して住む人、さらには野外活動やレクリエーションで生息地を訪れる人々に、クマとの間に「不適切な関係」を築かないようにするための情報を提供したり、そのことの大切さを理解してもらうために、行政や研究者、市民団体など様々な立場の組織が連携して取り組んでいます。もちろん、都市に住む人が気軽に訪れることができる動物園も、これらの情報提供や普及啓発に大きな役割を果たしています。



ヒグマに荒らされたスイートコーン。地元にとってヒグマは本当にやっかいものです。(撮影：間野 勉)



北海道のヒグマの分布  
開発による生息域の分断によって、南西部と日本海側の地域個体群の孤立度が高まっています。

北海道は、今年度から南西部の渡島半島地域を対象とした「ヒグマ保護管理計画」を確定し、様々な対策を実施することになります。計画の目標は「危険性と被害の最小化」と「ヒグマ個体群の絶滅の回避」の両立です。残念なことに、駆除で捕殺されたヒグマの胃内容の分析結果から、あちこちでヒグマが残飯や生ゴミを採食する状況にあることが明らかになっており、北海道における人間とヒグマは「不適切な関係」にあるといわざるを得ないのが現状です。関係する様々な立場の組織や機関の協力によって、現状の「不適切な関係」の改善につながる社会的な仕組みを作り上げることを目指します。そして「襲われたらどうする」、「被害が起きたらどうする」だけでなく、「被害を起こさないためにどうする」、「襲われる危険性を減らすためにどうする」といった考え方を少しでも多くの人々が理解してくれることを求めます。

北海道の先住民であるアイヌの人々は、豊かな山の神としてヒグマを敬い、恩恵をもたらす狩猟の対象として大切にしていました。しかし、明治の開拓期以降入植地の粗末な小屋で暮らした和人にとって、ヒグマは未知の地の恐ろしい野生の象徴でした。貴重な家畜や僅かの収穫がヒグマによって失われ、また凄惨な人身被害が語り継がれる中で、和人社会のヒグマに対する恐怖と憎しみのイメージが形作られ、現在に至っています。人々とヒグマの間の「不適切な関係」を改め、根強い拒絶意識を変えてゆくことができるのか? 新世紀に向けた北海道の挑戦です。

\*このことについては、本年9月初旬に北海道大学図書刊行会から出版された、「ベア・アタックスークマはなぜ人を襲うか」に詳しいので、関心のある方のご一読をお勧めします。(まの つとむ)

# キリンの引っ越し

飼育課：西田俊広

それは、たまたま私が担当の時に当園初の「キリン成獣捕獲・移動」が巡ってきた。現存する陸上動物中、最も背が高く、まして成獣のキリンを引っ越しさせるなど当園では誰一人として経験がなく、これはもちろん当園始まって以来である。国内においても成獣を捕獲した例は少なく、また失敗したという例も聞いたことがないのだ。正直「ヤバイ！」と思い、それ以降はキリンが転倒したり、ケガをしたり、あげくの果ては自分まで巻き添えになったりとロクでもない事ばかりを考えるようになった。これは私にとってもキリンにとっても非常にピンチである。私もいろいろと「生き物」を手で捕まえた事はあるが、さすがにキリンは手で捕った事がないし、ヒモで引っ張るわけにもいかない。唯一キリンの子ども(生後1年)だけは、どうやら私が一番「捕獲・搬出」しているようなのだ(過去6年間で5頭)。周りの雰囲気は「いけるやろー」状態に感じられる。ますますピンチだ！作業の安全を第一に考え、私が所属するゾウチーム、さらには新サバンナチームの協力のもとキリンの「捕獲・移動」がスタートした。

×-×-×-×-×

まず、捕獲するに当たっての下準備があった。捕獲・移動時に「もしも…」の事を予測し(あまり考えたくなかったが…)、「雌個体の妊娠」は避けなければならなかった。キリンの妊娠期間は430~470日とされており、当園での出産例を見てもこの域を越えた事がない。従って「捕獲当日」から逆算して2年近く前から雄雌の別居が余儀なくされた。放飼場は一つなので、雄雌の展示は午前と午後に分けられ(期間1998年5月12日~2000年4月3日まで)、これによるストレスや蹄(ひづめ)の伸び等が心配されたが、多少

ダダをこねられた時期があったものの大した事もなく捕獲当日を迎える事ができた。申し遅れましたが「捕獲・移動」させるのはキリンの成獣が1頭ではなく3頭も連続で行われるのだ。雄1頭、雌2頭、捕獲順序も個別に決められ、まず20歳の神経質な雌サキコ、次に16歳のノンキ屋雌ハルミ、最後にオスのナガヤ17歳と決定した。捕獲する檻だが、子キリン用捕獲檻を改良、強化し作成した。もちろんこれまでも事あるごとに綿密なミーティングが開かれた事は言うまでもなく、これは今回も引き続き行われた。檻内部での給餌を行い、これを2週間続けた。2000年4月17日、休園日を利用して1頭目のキリン(サキコ)の捕獲が始まった。皆、緊張の色は隠せず、もちろん私も体がガチガチではあったが、ここまで来て逃げ出すわけにもいかず、これまで幾度となく繰り返し行ってきた打ち合わせも最後となり、朝10時に捕獲を実施した。捕獲手順はこうである。

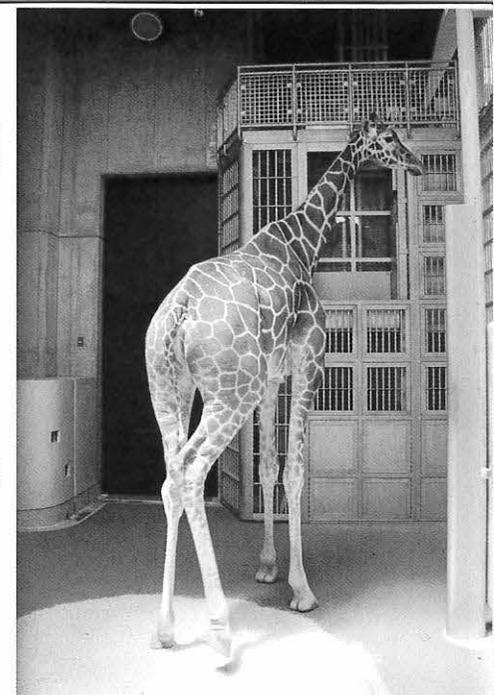
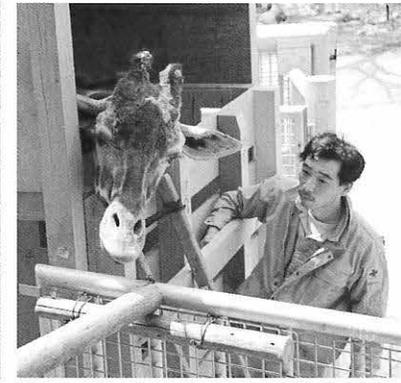
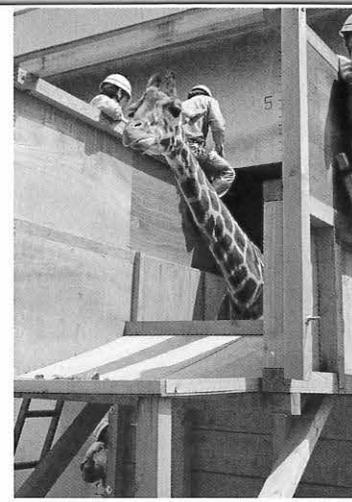
- ①馬栓棒用単管(鉄パイプ内にL字型鋼材を入れた物)挿入と、同時に平打ち縄にて確保。
- ②網戸閉鎖シャッター閉鎖。③待機職員召集。
- ④檻天井部をベニヤ板で覆(おおい)固定する。
- ⑤檻の蓋を上下2枚装着…。これで捕獲が完了するのだが、さあ果たしてこちらの思惑通りに事が運ぶのであろうか？そんな簡単に出来てしまわないのが動物が相手の飼育係が持つ宿命でしょう。

×-×-×-×-×

あれは、1995年、キリン担当になって初めてキリンのこどもの捕獲・搬出を行った。先輩方の捕獲手順通りに行ったはずであったが、こどもは抵抗して脱走。続く2回の強行も失敗、3回目の正直でようやく捕獲に成功、搬出した…という苦い経験をしているだけに、おのずとこちらの神経も高ぶってくる。しかも、今度の相手はこどもではなく成獣である。抵抗するにも小さなこどもとは比較にならないパワーを持っている。下手をすると、こちらの命までもが危険にさらされるとの予測。長くて短い2週間、短くて長い2週間、心境の変化が自分でも理解しづらかった。

×-×-×-×-×

これらの捕獲手順以外にも、移送トラックの準備や新キリン舎での放飼と寝室への収容、次の捕獲のため檻の再設置等もある。それにもまして移



キリンの引っ越し(2000年)  
4月17日 サキコ(メス)  
5月 8日 ハルミ(メス)  
5月22日 ナガヤ(オス)

左▼無事に捕獲されたハルミ(雌)と作業の風景(5/8)  
中▼新アフリカサバンナ草食ゾーンへ到着したサキコ(雌)と、筆者(4/17)  
右▼新アフリカサバンナ草食ゾーン・寝室へ移されたハルミ(雌)(5/8)

送トラックに檻ごと乗せられたキリンは園外の道路を移動することになっている……。これも心配の一つであった。またまた「トラック横転…」とか不安が脳裏をかすめた。文章にすると簡単であるが、何とも言えない心の揺らぎみたいなものが、事あることに感じられ、せめて読者の方々にはこの胸の内をお察し願いたい。やせる思いとはこの事か…。

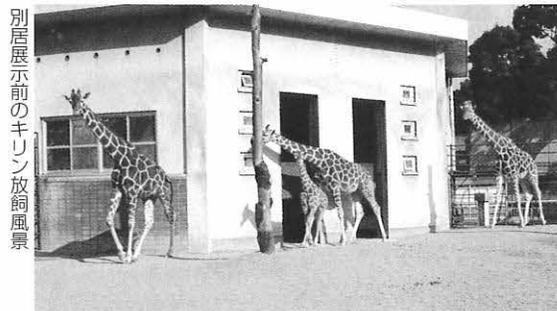
捕獲スタッフが役割分担の場所へとスタンバイし、とうとう捕獲「GO!」のサインが出された。4mのキリン舎のシャッターが上がり始め、なぜかシャッターが全部上がりきった時、なぜか一陣の風が吹き、目隠し用のベニヤ板をあおり「ガタン」と、すごい音がした。いつもならシャッターが開ききってしまう前に餌を食べようとして捕獲檻内へ入って来るはずなのだが、その時は入って来ずしかも「異音」がしたせいも重なって入って来る気配がない。そう感じられた。きっとキリンはこう思っているに違いない。

「いつもとは雰囲気が違う。それに変な物音もしたし、おかしい…」と。当然私も「しまった、失敗した、もうあかん…」。そう、思った。重苦しい空気がスタッフ全員を飲み込んでいくように感じ、また、誰もが「失敗」の2文字を確信したように思う…。と、その時、キリンが頭を出してきた！首、肩と続いて前肢、胴体、後肢と、とうとう捕獲檻に入り込んで餌を食べ始めた。スタッフが目で合図、息が止まるような瞬間、私は馬栓棒を慎重に差し入れた。キリンも危険を察して捕獲檻から出ようとバックしてきたが、尻部に馬栓棒が当たり、もうそれ以上後ろへ下がれない。どうやら「観念」したようで、キリンの目を見る

と、何がどうなったのかも理解できずにいるのがよく分かる。「成功だ！」…。そう思い浸る間もなく次々と作業は進んでいった。私もそれに促され動いた。檻に蓋をし、キリンを落ち着かせながら、クレーンでトラックへ積み込んだ。それから移送や寝室への収容もスムーズに進み、次の捕獲準備もしっかり整えた。

これらの手順を繰り返し、5月8日にもう1頭の雌ハルミ、5月22日、最後の雄1頭ナガヤも捕獲・移送させた。これですべての作業が終了し、「キリンの捕獲・移動」は、ほぼ完全な形で「完了」を迎える事が出来た。私にとって、手で捕まえる事は出来なかったにしろ、捕獲したことに変わりはなく他に誰もこれ以上、背の高い動物を捕獲する事はないでしょう(そりゃそうだ)。一つ残念だったのは、その後1カ月ほどした頃(6月23日)に、雄キリンのナガヤが不慮の事故で死亡した事だ。しかし、残る雌2頭は元気で、新しい環境にも徐々に馴れて、これを読まれる頃には「アフリカサバンナ区草食動物ゾーン」でお目見えしている事だろう。ぜひご覧になっていただきたい。長い時間をかけて捕獲・移動を行ったキリン達、そしてこれからは新サバンナチームによって、同じく長い時間と愛情を持って育てられていくキリン達を！

最後になりましたが、「捕獲・移動」期間中、心配してくださった職員、入園者の方々、新サバンナチーム、ゾウチーム、そして獣医師・関係スタッフに、この場をお借りして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。(にしだ としひろ)



別居展示前のキリン放飼風景

# サマースクール

第1組	7月20日(祝)・21日(金)
第2組	7月22日(土)・22日(日)
第3組	7月23日(火)・24日(水)

いずれも午前 9時30分～午後3時、2日間のスクールです。

天王寺動物園で夏休みに小学校4・5・6年生を対象に開催しているサマースクールも、今年で26回目を迎えました。今回は、180名の募集に658通の応募がありました。子どもたちは、動物舎の清掃、餌づくりなど普段見ることができない動物飼育の作業を実際に体験し、命の大切さ、素晴らしさを学びました。

管理課：松岡 秀和



ゾウのウンチの温度はどれくらいなんだろう？



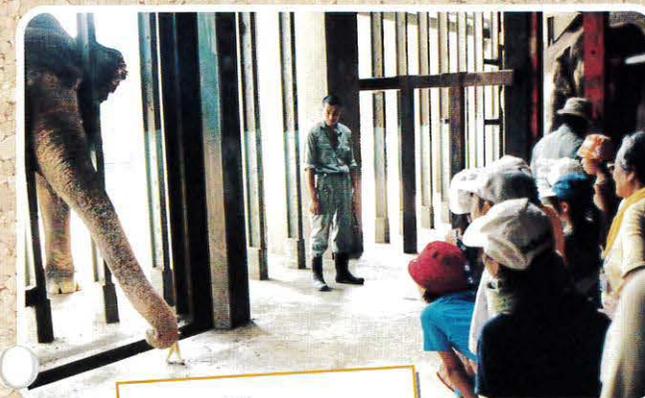
本物のラクダの毛をはりつけて特製うちわを作ろう！



動物園のペンギンはフリッパー(翼)につけた目印で見分けます



オランウータンの爪はどんな形をしているのかな？



ゾウは鼻をつかって、食べ物をどうやって食べるのかな？

長い鼻をとっても上手に使ってるゾ。



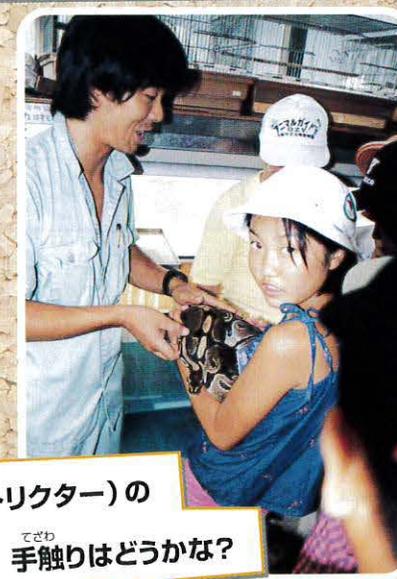
ライオンがおいしく食べてくれたらいいなあ！



シオザルのリントロウくん、はじめまして！



クロサイにちょっとエサをやってみよう！おいしい？



ヘビ(ボアコンストリクター)の手触りはどうかな？

# 山本 けいたの んでやもん! 動物園

No.5 絵・文 / 飼育課：西村 慶太



## MEMO マダガスカルヒルヤモリ

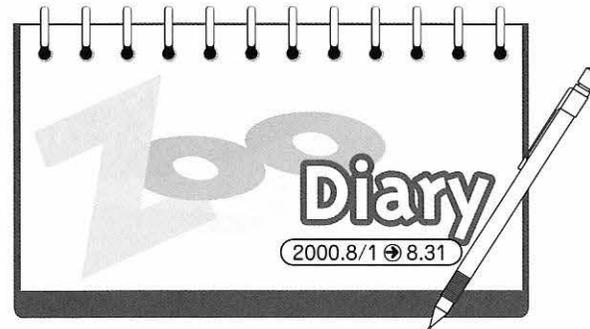
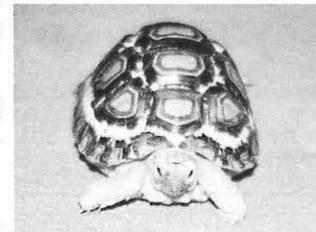
全身が美しい緑色で包まれた姿からミドリヤモリとも呼ばれています。昆虫を主食にしていますが、果物や花の蜜も好みます。

話は変わりますが、私、西村は4月の担当替えてアフリカサバンナ担当チームの一員となりました。でも別れを告げた爬(は)虫類たちとの思い出もまだ少し残っているので、もうしばらくこのコーナーを続けることをできそう。

フェイドアウト  
え? そのあと? うーん、いよいよ自然消滅かな?



- 8/7 ● クロサイのオスの子供サミーが成長し、オス親トミーとの間で争いが見られたので、2頭を分離して飼育し、交代で展示することにしました。
- ダマジカのメス1頭が腫瘍のため死亡しました。
- 8/8 ● 昨年生まれのメスのナベヅル1羽をベルギーのハウカンチョウ保護繁殖センターに贈りました。この移動は、世界的な繁殖計画の一環として、ヨーロッパで飼育されているナベヅルに新しい血液を導入するために行われました。
- 8/12 ● 当園飼育係によるお話「サイさんの一日」を開催しました。
- フランソワルトンが1頭生まれました。生まれたばかりの赤ちゃんは、大人と違って金色の毛で覆われています。
- 8/13 ● 大人を対象とした「園長の動物園講座 - 動物渡来物語 -」を開催しました。
- 8/14 ● アフリカサバンナ区草食動物ゾーンの放飼場にアミメキリンのメス1頭を放飼しました。
- 8/20 ● 当園獣医師によるお話「動物の治療」を開催しました。
- ヒョウモンガメが1頭ふ化しました。
- 8/22 ● ダチョウ3羽をアフリカサバンナ区草食動物ゾーンに移しました。
- 8/25 ● アフリカサバンナ区草食動物ゾーンの一般公開を行いました。公開に先立って、オープニング



セレモニーが行われました。



● ダマジカのメスが1頭生まれました。

8/26 ● 当園飼育係によるお話「動物たちの餌」を開催しました。



8/29 ● フクロギツネのオス1頭の検疫が終了し、夜行性動物舎に展示しました。

8/30 ● アメリカ合衆国コロラド州立大学のキャンベル博士が来園・見学されました。



### お知らせ

#### 秋の動物と花のフェスティバル2000

会場 天王寺公園・天王寺動物園  
日程 10月9日から11月3日 までの日曜日・祝日

開催中

#### ●動物園の催物

- ★「動物君たちの一日」は、朝の展示から夕方の収容まで、ふだん皆様が見られない動物たちの様子をビデオで見ながら担当キーパーが詳しくお話をさせていただきます。  
11月11日(土)：ペンギンさんの一日 11月25日(土)：カバさんたちの一日
- ★「日本語のビデオマンガの放映」 11月4日(土)・11月18日(土)
- ★「獣医さんのお話」 11月19日(日)  
●場所 天王寺動物園園内レクチャールーム・先着60名様・入場無料  
●時間 午後1時30分
- ★「ウチはいろいろ」展を開催します  
●場所 園内展示館  
●日時 10月9日～11月3日 9時30分～17時30分
- ★詳しくは天王寺動物園公園事務所までお問い合わせください。(TEL 06-6771-8401)

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店



## 子どものずかんシリーズ

### ① どうぶつえん

26.5×21cm 各巻定価 本体1,000円(税別)  
 全国学校図書館協議会選定

動物園にはいろんな動物を見ることができます。  
 ただ、単に見るだけではなく、その動物の特長や生態、  
 何を食べているか、またその仲間たちはどんなものか  
 があるかがこの本でわかります。さあ、この本を持って  
 もう一度動物園へいってみよう。

お求めは、お近くの書店で。

**ひかりのくに株式会社** 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151 代表



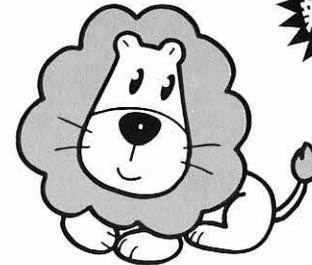
## マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
 生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856  
**(株)増田食品** 大阪府豊中市穂積1-10-30  
 TEL (06) 6865-0165

FUJIFILM  
 I&I - Imaging & Information



新発売

楽しいショットを  
 3つのサイズで。

ADVANCED  
 PHOTO SYSTEM



FUJICOLOR スーパー  
 スリム  
 APSフィルム使用

# 切替

撮影シーンに合わせて、  
 標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

## カメラの大林

桜橋本店 ☎6341-8091  
 阪急三番街店 ☎6372-5031

## 狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由枝子[編著] ●新刊  
 3,500円+税 ●限定1000部  
 狼と犬と猫の生態を研究し、動物文  
 学をはじめて世に紹介した平岩米吉  
 の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を  
 娘の眼から深く描く。  
 夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわ  
 せ、動物画家・大崎善司、日本好き  
 のスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史  
 2,600円+税

犬と狼

●2刷出来 2,500円+税

犬の生態

●6刷 2,000円+税

犬の行動と心理

●4刷 2,000円+税

私の犬

2,200円+税

猫の歴史と奇話

2,200円+税

動物文学 復刻版 [全10巻+補巻・索引]

174,757円+税 ●限定300部(分売不可)

南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

**築地書館** 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)  
 ●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」

19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)  
 好評発売中 ¥800(50度用)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー

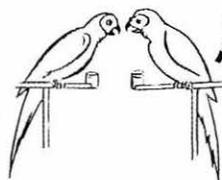
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)6771-0201



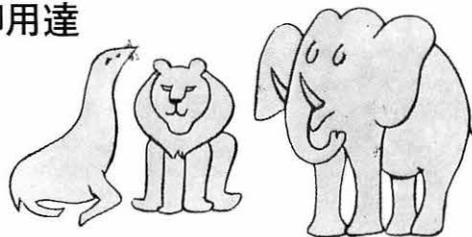
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社  
 KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)  
 Coca-Cola & Coke は The Coca-Cola Company の登録商標です



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

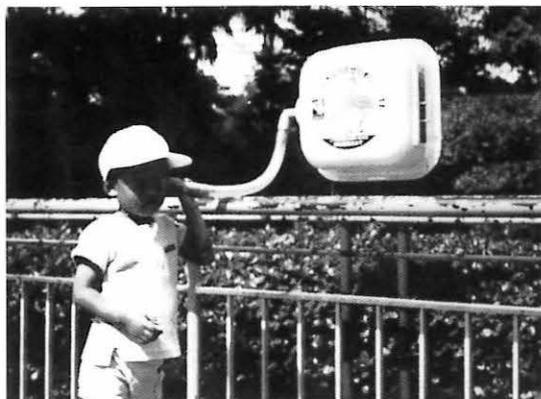


## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
 飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
 30数ヵ所にあります

関西特機株式会社  
 電話 06-6762-2333  
 1回 30円

動物園内での  
 お食事、  
 ご休憩は



動物園内.....

## 中央売店

TEL 06-6771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内  
**南園売店** TEL 06-6771-7110



## 天王寺動物園 MAP

大阪市天王寺区茶臼山向1-108 TEL.06-6771-8401



入園料 動物園/大人500円 公園/大人150円 中学生以下、65歳以上無料  
 開園時間 午前9時30分~午後5時(入園は4時まで) 休園日 毎週月曜日(月曜が休日に当たる場合は翌日休園)



ほんとに  
楽しいネ!



中央デッキ下

# 一日、愉快地のしめる

◎園内2カ所(中央デッキ下・南園高架下)に、各種のりものがあります。



南園高架下

**久竹娛樂株式会社**  
TEL(06)4397-0100(代)

編集委員

中尾啓一/中川哲男/石井 等/藤田四郎/沖田紀行/山崎道正/長瀬健二郎/谷森 進/橋本泰幸/森本委利/高橋雅之/市川久雄  
竹田正人/高見一利/西 康弘/田中 龍治/瀧 勇二/松岡秀和/坂本 全/森岡伸晃/野口秀高/大野尊信/早川 篤/西村慶太/油家謙二